



三条北ロータリークラブ週報

PUT LIFE INTO ROTARY — YOUR LIFE

ロータリーに活力を—あなたの活力を

国際ロータリー会長 ロイス・アビー 第256地区ガバナー 櫻内悌三郎

例会日

1988. 11 . 15

累計 No 99

当年 No 20

会長 梨本 清一

幹事 今井 克義

SAA 米山 忠俊

例会日 火曜日 PM12:30~1:30

例会場 三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局 三条市西四日町3 15 34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行事： 吉田RCと合同例会

出席： 本日の出席 40名中30名

先週の出席率 40名中36名 90.00%

先週のメークアップ： 10月19日 三条RCへ 落合益夫君

会長挨拶： 梨本清一

藤田説量パストガバナーには、私どもの願いをお聞き入れ下され、ご臨席を賜り誠にありがとうございました。吉田RCの皆様、遠路お寒いなかのご来訪ありがとうございました。三条北RC会員皆様方もご苦労さまでした。吉田RCと三条北RCとの合同例会は本日をもって第2回の開催となります。思い起こしますと、藤田ガバナー時代の86年10月5日、吉田RCが認証状伝達式を挙行されました。その翌年、87年5月30日藤田ガバナーの任期ぎりぎりのところで私ども三条北RCのチャーターナイトを挙げさせて載いたわけでございます。くしくも藤田ガバナー年度に誕生した両クラブが藤田当時ガバナーをご縁念と載きましてこうやって毎年1回膝をつき合せながら、お互いの健闘をたたえ合い、友情を深め合おうとするものであります。三条新聞などで、吉田RCが駅前をフラワーボックスで花いっぱい飾られたとか、藤田パストガバナーを講師にお迎えして、高令者のための生きがい講演会を開催されたとか、といったニュースを見ますと、なぜか私ごとの様に嬉しくなって吉田さんなかなかがんばってるなあ、こちらもロータリー活動、一生懸念やるぞ、と思います。いつまでも、よい意味での仲良しライバルでありたいと考えております。仲良しの間柄でも吉田さんは常に、お兄さんであることは歴史的事実であり、これからも変更することはあり得ません。どうぞ、三条北のご指導よろしくお願い申し上げます。第2回の合同例会、藤田パストガバナーよりどんなご講話を丁載出来ますか、また会員同志、どの様に話が弾みますか、楽しみにして開会のご挨拶に致します。

幹事報告： 今井幹事

◇吉田RCより例会変更のご案内

11月18日(金) クラブ協議会PM7.00～ 吉田町産業会館

11月25日(金) ガバナー公式訪問

◇地区ガバナーより意義ある業績募集のお知らせ

1988～89年度意義ある業績表彰を希望するクラブは11月28日までに申請書を提出して下さい。

◇今日の週報にのっていますJR燕三条駅にあります例会案内板のうち、燕RCの例会日がまちがっていましたので正しく訂正しておきました。

ニコニコBOX:

藤田 説量 両クラブのご繁栄を祈る。

長谷川 彦君 (吉田クラブ)三條北RCとの合同例会を心から喜び、今後一層親睦の輪が広がる事を願って。

今井克義君 吉田クラブの皆様ようこそおいで下さいました。藤田先生もお忙しい所、我々の合同例会に御出席いただき、心より感謝申し上げます。

平松利朗君 吉田RCの皆さん、ようこそいらっしゃいました。“熱烈歓迎”致します。藤田前ガバナー、今日は卓話を有難うございます。

樋口金占君 合同例会を記念して。

米山忠俊君 藤田パストガバナー卓話ありがとうございます。吉田クラブ昨年はお世話になりました。今年もよろしくお願い致します。

粉川昭蔵君 合同例会に幸あれ。

阿部誠一郎君 吉田RC皆さん御苦労さんでした。

斎藤正君 およそ1年前の橋畔楼での楽しい一時を思い出しています。

山崎勲君 吉田クラブの御来会を記念して。

吉川吉彦君 吉田RCの皆様ようこそ第2回目の今日は楽しく過しましょう。

石川勝行君 吉田ロータリークラブの皆さん昨年はお世話になりました。今日は三條でごゆっくりお過ごし下さい。

河井増雄君 吉田クラブの皆さん、ようこそ三條へおいで下さいました。今後ともよろしくお願い致します。

卓 話: 紳士とは パストガバナー藤田説量殿



両クラブ会長挨拶、幹事、BOX委員の報告が大変要領よく、スピーチも適切であり長足の進歩です。私の時にみなさんのクラブが誕生して以来、聞いていないところを見ますと強引に作ってしまったかと反省もしていますが、反面ともしあわせであったと考えて居ります。ロータリーは紳士の集まりであり、紳士に志のある人の集りであると思えます。今日は私なりに考えている紳士とはどういうものなのか申上げてみたいと思えます。紳とは太い帯という意味であり昔太い帯をしめていた

です。イギリスでは紳士の条件の一つに暑い、寒いといわないことが含まれるようであり、良寛も同じ様なことを書き残して居られます。細些なことにくよくよしないことの意味の様です。又、服を新調する時に、一度に六枚も同じタキシードを注文するそうです。他人から見れば、いつも同じ服を着ているとしか見えないが、実はいつも手入れのゆきとどいたものを順々に着ているのだそうです。ハイソサィティの人達の在り方生き方をかいま見る思いがします。辞書では紳士とは、行いが正しく、礼儀正しく学徳があり、しかも上流社会の男子と書かれて居り、我々とはずいぶん距離があると思います。紳士とは先づ育ちがよいということ、上流社会に生まれキッチリとした教育を受けた人、これに越したことはないが私は、それより家庭生活の中でキッチリとした家庭教育を受けたものが育ちがよいというべきだと思います。今の教育は人任せのところがありますが、人間教育とは家庭が基本であり、親自身が日々努力し、学び子供と共に成長してゆくことが大切であり、(子供の頃からキチンとアイサツ出来る様に育てられると、社会性の広さとなり、損得のない人とも出合ったり学校でも大きな能力を発揮する可能性が生れたりします。) 幼児期にキッチリとしつけることが重要なことでもあります。人間は振幅があり、よい面と悪い面が渾然一体となりその人の本質として出来上って居ります。その振幅の中にバックボーンを持つこと、これが教育だと思えます。育ちのよい人は並んで歩いていてもわかります。人を信ずる姿勢が基本にあり、素直に物を見疑うことをしない。そして、気取ったところがないこういう人がすばらしい人間であると思えます。垢抜けした人間について、人間教育が多岐にわたって居りますが、その中で個性的教育が云々されて居ます。何か勘違いしてその人のくせ、アク、おしつけがましいところ等を個性的と思いでいる人がおる様ですが、本当の個性とは垢抜した本当に訓練された鍛えられた、そしてその中からにじみ出てくる人間味だと思えます。京料理の芋棒の様に何時間も煮てアクを抜き煮ふくめ、おいしくして居ります。又お菓子もあづき、砂糖を長時間手塩にかけアクを抜き立派なものに仕上げます。人間も同じだと思います。訓練し、磨き、努力し、いためつけられもみくちやにされながら味わい深い美しさ、個性が生れてくるものだと思います。間口の広い教養のある人、そして人と楽しむことの出来る人、人を楽しませることの出来る人、ユーモアのある人、本当のユーモアとは人を楽しませ、人真似ではなく、つけ焼刃ではなく中からにじみ出る思いやりのある暖いものだと思います。人を楽しませることが人生にいかにか大切か、これにより交際が広くなり間口が広がり、人を見る目が出来て来るものだと思います。そして紳士とは世界に目を向け、明日にチャレンジし、明日を見透す力をつけてゆかなければならないと思えます。昨今諸外国より経済大国といわれる様になった現在、資源が少なく休日が多くなり、又諸外国の追い上げの中でどういう生き方をするか。日本、日本人そのものが評価を受ける時期が来て居ります。次代を任う者にキッチリと教え人間の資源の向上を計り、紳士の多い国として国際交流をし、30年、40年後の世界を考えてゆかなければならないと思えます。

11月22日例会： 卓話 杉本勝昭君

11月29日例会： クラブアッセンブリー

第二回吉田・三条北RC合同例会

